

上尾合同教会 主日礼拝

2020年 5月 3日

- * ご家庭で、二人以上で礼拝をされる場合には、どなたか一人が司会者になって下さい。司会者以外の方は下記の太字の言葉をお読み下さり、司会者は太字でない言葉をお読み下さい。
- * ひとりで礼拝を為さる時は、すべてを通してお読み下さい。
- * 讃美歌は歌える環境であれば、讃美して下さい。そうでなければ心の中で歌いましょう。
- * 説教の時に、ホームページにある本日の説教録音をお聴き下さるか、『説教全文』をお読み下さい。インターネット環境がない方のために、当日昼に各週報欄に『説教全文』をお配りします。

《神のみ前に近づく》

序 詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 13-1節 (みつかいととともに)

共同の祈り (出席者全員で声を合わせます)

父なる神さま、依然として混沌の中にある私たち、日本、そしてこの世界を憐れんで下さい。束縛(そくばく)を受けることなく思いのままに移動して来たこと、隣りにいる人との距離を警戒することなく接して来たこと、仕事場や学校に向かうことが何より優先されて来たことなど、今まで疑問を感じず過ぎてきた日常の生活が、こんなにも危(あやう)く、脆(もろ)いものであったということを身に染みて教えられています。当り前と思われて来た様々な事柄が問い直されている今、私たちの礼拝や信仰のあり方も改めて考え直す時とすることが出来ますように。そして無くてはならないものが何なのかを見据えて生きて行くことが出来ますように。

主よ、各家庭や個人で献げている、この礼拝を支えてください。このような形であっても、あなたを礼拝する私たちの思いをよしとして、祈りと讃美を受け入れて下さい。何よりみ言葉を与えて下さい。今、み前にぬかずく一人一人を祝福して下さいますように。

愛する方を亡くされた方々、病におびえておられる方々、自粛によって困難な状況に追い込まれている方々、このような状況下でも仕事に従事しなければならない方々を支え、励まし、守って下さい。幼い子どもたちやご高齢の方々を守って下さい。日本に、世界に、癒しと慰めの聖霊を今こそ注いで下さいますように。

「主よ、わたしはなお、あなたに信頼し『あなたこそわたしの神』と申します。わたしにふさわしい時に、御手をもって追い迫る者、敵の手から助け出してください。あなたの僕に御顔の光を注ぎ慈しみ深く、わたしをお救いください。

(詩編31:15~17)

*しばらく 黙祷の時 をもちます

主よ、再び、共に集められ、共にあなたを讃美する礼拝を献

げる時が一日も早く備えられることを心より祈り願います。御名によって、アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖 書 (できれば朗読して下さい)
イザヤ書 5章 1~3節 (旧p1152)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 3章 14~18節 (新p456)
これはキリストの福音です。

主なるキリストを賛美します。

讃美歌 361-1, 2節 (この世はみな)

説 教

『黙示録⑱—熱くも冷たくもないから』

*ここでインターネットにある説教録音を再生下さるか、『説教全文』をお読み下さい。

祝福の祈り

武田 真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 516-1, 2節 (主の招く声か)

祈 禱 (ご自身で祈ります)

*集っておられる方がお一人ずつ祈って頂きますと良いかと思いますが、時間がない場合等、代表の方がお祈り下さってもかまいません。

献 金

*各自用意した献金袋に入れ、教会にお献げ下さい。(礼拝再開時に)

主の祈り (声を出して祈りましょう!)

讃美歌 83-1節 (聖なるかな)

祝 禱

*説教録音の最後に「祝禱」を祈ります。
*再生できない場合は、下記のように黙祷下さい。

黙 禱 (心を静めて祈ります)